

第23巻 PDF 読本



指宿枕崎線（枕崎～鹿児島中央）

日南線（志布志～南宮崎）

2024年8月25日 歩く鉄道作家 檜原 勉

<目次>

はじめに

第1章 指宿枕崎線（指宿～喜入） 5

第2章 指宿枕崎線（喜入～鹿児島中央） 26

指宿枕崎線（枕崎～指宿）

第3章 日南線（志布志～南宮崎） 90

指宿枕崎線（枕崎～鹿児島中央）：87.8 km

日南線（志布志～南宮崎）：88.9 km

総営業キロ 176.7 k m

はじめに

本著書はデジタル形態のシリーズもので、「こだわり鉄道つたい歩き」よる PDF 読本旅日記の手記記録です。これまでの 5 巻（うち 2 巻は書籍）については、稚内から鹿児島までの日本縦断の旅について描いたもので、お陰様で執筆が完了しました。

引き続き、第 6 巻目からは、“日本横断歩き鉄の旅”について連載しています。第 18 弾目として、鹿児島本線や日豊本線に接続する、鹿児島県・宮崎県を走る、指宿枕崎線と日南線の旅（総営業キロ 176.7 km）について執筆させて頂きました。

本作品はカッシー館にある榎原勉文庫拡充で閲覧可能です。また、国立国会図書館でご承認を得れば、通算 32 作目の著書として国立国会図書館でも閲覧できます。

（2020 年 2 月～2024 年 2 月で踏破）

こだわり鉄道つたい歩きとは、カッシー館でもご紹介している通り、九ヶ条から構成されます。

1. ウォークマンを聴きながら一人歩きを楽しむ
2. “鉄道案内人”に従って各駅を踏破する
3. メモや写真をとりながら筋書きのないドラマを楽しむ
4. 必殺仕事人の心境で歩く
5. 出発点は先憂後楽の考えに基づき決める
6. 歩く鉄道営業キロは季節を考慮して決める
7. 活動記録をとっている
8. 青春 18 きっぷを極力活用する
9. 東横インを極力活用する

<ご参考>

本著書に登場する駅舎は、“日本横断歩き鉄の旅“PDF 読本シリーズ中、カッシー館のブログに登場する「樫原勉文庫拡充」にて、次の PDF 読本からダイジェスト版でもご閲覧頂けます。

第 64 編（日本横断歩き鉄の旅）

日南線 指宿枕崎線



鹿児島中央駅

2024年3月2日 歩く鉄道作家 樫原 勉

第1章 指宿枕崎線（指宿～喜入）

第1節 概要（日豊本線の再掲）

2022年2月17日（木）～2月24日（木）までの7泊8日の旅は、当初予定の日豊本線の南宮崎～鹿児島（営業キロ120.1km）を全駅舎立ち寄りにより無事歩き終える。加えて、多少余力が残っていたので、指宿枕崎線（鹿児島中央～枕崎：87.8km）のうち、喜入駅から指宿駅までの19.1kmの踏破を急遽思いつき挑戦する。そして、この区間においても全駅舎立ち寄りに成功する。今回の旅で通算営業キロは**1万3千57km（活動日数638日、日本の鉄道の47.1%）**となった。



今回の旅も概ね天気恵まれ、南九州の旅の幕を無事下ろすことができ、天や神そして地元の人などに感謝の気持ちで一杯となった。

今回の旅で特筆すべき事項は次の通り。

①2022年2月21日（月）、国分駅で1万3千キロを突破する。（2021年5月30日1万2千キロ突破:約9ヵ月で千キロ達成！！）



②標高 1,117m の桜島を種々のアングルから鑑賞できた。



※関の坂辺り、竜ヶ水駅辺り、前ヶ浜駅辺り

③2022年2月9日、国宝に指定されたばかりの霧島神宮を参拝できた。（高校時代の修学旅行以来）



④山また山の旅に加え、海岸線もあり楽しい旅であった。

⑤指宿シーサイドホテルで初の”砂むし温泉”を体験できた。



※お世話になった職員さん達

⑥指宿枕崎線の想定外の歩きが実現することができた。

⑦開聞岳を背景にした日本最南端の駅（西大山駅）に立ち寄ることができた。



⑧焼酎の製造現場の石蔵ミュージアム（白金酒造）に立ち寄ることができた。



⑨宮崎で大学時代の友人と2年振りに旧交を温めることができた。



⑩コロナ禍の影響で、アルコールはNGであったが、鹿児島中央駅界隈での2日間はさ
さやかながらアルコールを堪能できた。

⑪初めて九州新幹線に乗る機会を得た。しかも、博多から鹿児島中央まで。

第2節 旅プラン（日豊本線の再掲）

南九州旅行プラン（営業キロ 139.2 km：内日豊本線 120.1 km、指宿枕崎線 19.1 km）

○2022年2月17日（木）晴れ

SNA57便 羽田空港 12:00 → 宮崎空港 13:50

宮崎空港 14:03 → 宮崎 14:14



東横イン宮崎駅前泊 （0985-32-1045）

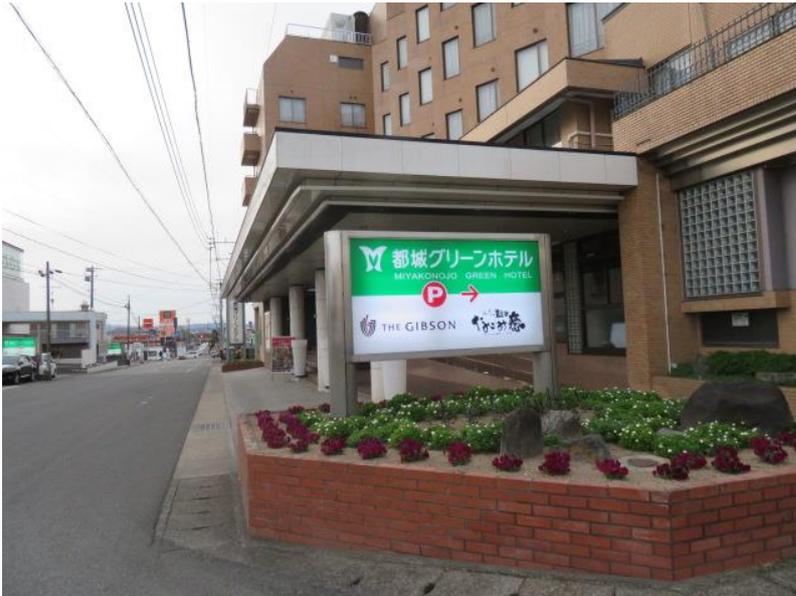
○2月18日（金）晴れ

宮崎 6:54 → 青井岳 7:34

青井岳～田野～日向沓掛～清武～加納～南宮崎（営業キロ 26.8 km）

南宮崎 15:20 → 宮崎 15:25

宮崎 15:35 → 都城 17:03



都城グリーンホテル泊（0986-25-6111）

○2月19日（土）曇り／小雨

都城 7:26 → 青井岳 8:00

青井岳～山之口～餅原～三股～都城（20.6 km）

都城泊

○2月20日（日）晴れ

都城 7:04 → 霧島神宮 7:39

霧島神宮～北永野田～大隅大川原～北俣～財部～五十市～西都城～都城（29.5 km）

都城泊

○2月21日（月）晴れ

きりしま1号 都城 6:41 → 霧島神宮 7:15

霧島神宮参拝（タクシー活用）

霧島神宮～国分～隼人～加治木（22.2 km）

きりしま 11 号 加治木 16:01 → 鹿児島中央 16:25



東横イン鹿児島中央東口（099-813-1045）

○2月22日（火）晴れ

鹿児島中央 7:19 → 加治木 7:58

加治木～錦江～帖佐～始良（あいら）～重富～竜ヶ水～鹿児島（21.0 km）

鹿児島から市電で鹿児島中央駅へ

鹿児島泊

○2月23日（水）曇り／小雨

鹿児島中央 7:33 → 喜入 8:17

喜入～前之浜～生見（ぬくみ）～薩摩今和泉～宮ヶ浜～二月田～指宿（19.1 km）



指宿シーサイドホテル (0993-23-3111)

○2月24日(木) 晴れ

タクシーで指宿観光

指宿シーサイドホテル～日本最南端の駅(西大山駅)～西郷どん縁の地～

日本最南端の有人駅(山川駅)～指宿駅

指宿のたまたま箱2号 指宿:10:56 → 鹿児島中央 11:48

さくら 556号 鹿児島中央 12:35 → 博多 14:00

のぞみ 36 博多 14:15 → 新横浜 18:57

第3節 心温まるメツメッッセージ

日豊本線に記載のため割愛。

第4節 日豊本線の旅日記

日豊本線に記載のため割愛。

第5節 指宿枕崎線（喜入～指宿）

2022年2月23日（水）曇り／雨、南九州の旅の7日目は、指宿枕崎線の喜入駅から指宿駅までの営業キロ19.1kmに挑戦する。この路線の歩きは、昨日南宮崎駅から鹿児島駅までの営業キロ120.1kmの踏破を無事終えた後、急遽思いついた。



※ホテルをチェックアウトし鹿児島中央駅へ



※鹿児島本線、日豊本線、指宿枕崎線などの路線図

当初は乗り鉄で鹿児島中央から枕崎まで行き、枕崎から指宿まで引き返し、指宿シーサイドホテルに宿泊するプランを考えていた。しかし、枕崎13時20分発のダイヤがこの日は運休とのことで当初のプランは見送りとなった。後は歩き鉄でどこをどう歩くかを考えた。その結果、将来指宿枕崎線の全線の踏破をにらみ、喜入から指宿が最も効率的だと判断し決断した。なお、将来指宿枕崎線の踏破に当たっては、枕崎から指宿までの

営業キロ 42.1 kmを2日間、喜入から鹿児島までの営業キロ 26.6 kmを1日間で対応できると判断した。将来どこかの路線と絡み合わせ、是非達成したいものだ。



※鹿児島中央駅（指宿枕崎線車両2両編成）、次は瀬々串駅

ホテルでゆっくり朝食をとり、喜入駅まで列車で移動し、喜入駅から指宿駅まで歩き、指宿駅からタクシーで指宿シーサイドホテルに向かうプランで臨む。本日のコースは、国道226号線に沿って鉄道があり、ラッキーと考えていたが、さにあらず。ひとつは非電化のため、鉄道案内人の一つである電柱が見えない。喜入駅から前之浜駅までの道筋は以下にある通り、悪戦苦闘した。



※喜入駅、喜入駅界限

初めて指宿枕崎線に乗車。将来、この路線の踏破を鑑み、道筋を観察しながら、終点の喜入駅まで移動する。各駅舎の到着時刻は次の通り。

喜入 (8:23) ~前之浜 (9:47) ~生見 (ぬくみ、11:02) ~薩摩今和泉 (11:50) ~宮ヶ浜 (12:46) ~二月田 (13:45) ~指宿 (14:37)

①終着駅喜入駅まで乗車したのは、私1名であった。喜入のネーミングは”喜びを受け入れる”とあった。駅前には、タクシーが1台停車していた。女性の運転手さんに、指宿までの道筋をお伺いする。原則国道226号線に沿って歩けば行けるとのことであった。しかし、駅前の路から国道226号線に出る路を誤りとんでもない方向に向かっていった。非電化のため、鉄道の進路が掌握できなかったのが主な原因。



※喜入郵便局前、二重橋、リカバリーへの路

8時30分、喜入郵便局前を通過。100m位前方に黄色車両が横切る。これで自分が誤った方向に進行しているのに気付く。先程の交差点を直進すべきところを右折したのがミスと判明。軌道修正しようとするが、人の姿なし。もとに引き返す方法も考えたが、面白くないので、少し行った先で海岸線に出る道筋とした。そして、第六感を頼りに歩く方針とした。



※山道を歩き高原（平原）に出る

8時44分、二重橋をわたる。民家が続く道筋を歩く、そのうちに山間となる。簡単に山を越せると思ったが、そうは上手くいかず。段々と山は深まる。9時11分、広大な農地が広がる高原に出る。スケールは小さいが、昨年歩いた小海線で歩いた野辺山のよ

うであった。途中、田圃をしている方に出会う。「高原を真っ直ぐ進めば前之浜駅に行けます」と教えて頂き安堵する。



※高原を淡々と歩き下り路に

9時18分、高原の田園風景を堪能しながら、高原を淡々と歩く。9時30分、坂道となる。9時41分、街並みが広がる。道なりに歩いた先に前之浜駅(9時47分)があった。海岸線に沿った国道226号線に沿ってあった。少し路に迷ったが、海岸線経由ではなく、山道経由の前之浜駅踏破は、実にウォーキングの醍醐味を味合う面白いコースであった。



※JR線が見え安堵、前之浜駅



※駅内の陸橋を横切り前之浜駅舎前に、前之浜駅前

②ここから指宿までは国道に沿って駅舎があった。9時49分、枕崎60km地点に到達。9時53分、鹿児島中央行きの上り車両と対面する。ここから桜島が一望できる。9時55分、指宿温泉18km、池田湖14kmと記した道路標識前を通過。曇り空で風冷たし。10時16分、神社前で本日の安全を祈願する。10時50分、松並木ではなく杉並木が続く生見（ぬくみ）海水浴場前を通過。10時32分、枕崎56km、指宿温泉15kmと記した道路標識前を通過。10時43分、犬からの挨拶がある。11時2分、生見駅にやっと到着する。



※枕崎まで60km地点、鹿児島中央駅に向かう車両



※犬の歓迎を受ける、生見海水浴場前



※生見駅

③11時10分、枕崎 55 km地点に到達。11時13分、鹿児島市から指宿市となる。11時25分、道の駅いぶすき前を通過。11時45分、指宿商業高校前を通過。11時50分、薩摩今和泉駅に到着。「天璋院篤姫ゆかりの地」と掲示板にあった。



※薩摩今和泉駅への路



※薩摩今和泉駅



※天璋院篤姫ゆかりの地

④12時10分より、万歩計で201歩ある岩本トンネルを通過する。12時14分、JR線下を潜り、鉄道の右側となる。12時22分、十石バス停（鹿児島交通）を通過。12時38分、指宿小学校前を通過。12時46分、宮ヶ浜駅に到着する。



※岩本トンネル、JR 下潜る、指宿小学校



※創立 151 周年の指宿小学校前



※宮ヶ浜駅



※宮ヶ浜駅、立派なサボテン園

⑤この駅を過ぎた辺りで水滴をポツリと感じる。13時5分、運よくコンビニがあったので傘を購入する。徐々に本格的な雨となる。13時35分、二月田駅に到着する。2月にこの駅に到着でき、何か因縁を感じた。13時56分、創立125年の柳田小学校前を通過。直ぐ傍に創立100周年の指宿高校があった。14時32分。渡瀬踏切を横切って、鉄道の左側となる。14時37分、指宿駅に到着する。



※二月田駅



※二月田駅



※125周年を迎えた柳田小学校、指宿駅への路



※十町郵便局前、渡瀬踏切、路線バス



※指宿駅



※指宿のたまて箱

⑥指宿駅からはタクシーで指宿シーサイドホテルに向かう。ホテルには15時3分到着。古垣さんから懇切丁寧にホテル内の説明をして頂く。16時から砂風呂があるとのこと、12分位楽しむ。一番風呂に入ることができる。冷えた体を温めてくれた。その後、温泉にゆったり浸かり、今回の旅の疲れを癒す。17時半からノンアルコールでご馳走を頂く。食事の後は、明日の観光の相談を古垣さんに。そして、お土産や衣類を含めた

宅急便を岩下さんをお願いする。本日も充実した一日で閉幕する。早いもので明日が
よいよ最終日となった。



※指宿シーサイドホテルで祝杯



※ホテル内の見取り図、りえもんで再乾杯！！



第6節 指宿観光&帰宅

日豊本線に記載のため割愛。